

【案件概要】

カムリ県マトウム中高等学校における女子寮建設計画

1. 計画の概要

被供与団体	マトウム中高等学校
供与額	87,955米ドル
署名者	カバクビヤ・アンソニー（校長）
計画名	カムリ県マトウム中高等学校における女子寮建設計画
実施地	カムリ県ブウェンゲ町（ウガンダ東部）
供与内容	女子寮1棟（492㎡：2室，各100人収容），ソーラー発電システム，トイレ・水浴室棟1棟（各30㎡，トイレ5室，水浴室5室），家具
贈与契約署名日	2016年1月25日

マトウム中高等学校は、ウガンダ東部カムリ県ブウェンゲ町に所在する学校で、現在教員32人（全員常勤講師）、女子生徒477人、男子生徒547人の計1,024人の生徒が在籍しています。2005年に同校により建設された老朽化した女子寮がありましたが、2015年の暴風雨により突然全壊したため、寮生たちは教室を仮の寮として使用しており劣悪な生活環境を強いられています。寮生たちは、既存の10教室のうち4室を利用した仮の女子寮に寝泊りしており、学校全体としての教室不足が全生徒の教育の質を低下させていることも問題となっています。本計画では、マトウム中高等学校の女子寮生200人の生活環境が向上し、全生徒1,024人の学習環境が大幅に改善されます。

2. 贈与契約署名式

2016年1月25日、在ウガンダ日本国大使館において、藤田順三大使とカバクビヤ・アンソニー校長の間で贈与契約が署名されました。

プレスリリース(英語)

写真